

令和2年度 第1回太田市公共事業入札等監視委員会 委員コメント

小川委員長

コロナウイルスの影響回避でしばらく開催を延期していましたが、新任の委員さんもお迎えして令和2年度の委員会を開催することができました。

今回は、令和元年度の入札状況と2件の内容審査を行いました。1件は入札の不調が続いた太田市立西中学校の給食室建設、もう1件は埋設物と土壌改良のために変更協議を要した尾島体育館の解体基礎工事です。

いずれも審査を通じて入札制度、公契約についての委員の理解を深めることができる案件で、質疑も活発に行うことができたと思います。

市況や入札参加者の動向を踏まえ、適正な入札制度の運営がなされているか、引き続き市民目線で関与していきたいと思います。

大谷副委員長

令和元年度下半期の入札は適正になされていると思いました。

公共工事発注の透明性も確保され、ますます信頼のおける入札を実現しているものと考えます。今後の随意契約のあり方についてはその趣旨や地域性工事の特殊性などをより明確にする必要があるものと考えます。

大島委員

委員として初めて参加させていただきました。総務部の方々からとても丁寧でわかりやすい説明を受け、審議に臨みました。

「太田市尾島体育館解体及び特殊基礎工事」について、当初の請負金額と契約変更金額に開きがあり、確認をさせていただいたところ、事前調査の段階ではわからなかった地中埋設廃棄物の存在が判明し、変更せざるを得なかったとのことでした。入札時はもちろんのこと、入札後も適正な契約を履行するため、担当の方々が、さまざまなご努力をされていることを伺いました。当初の請負金額に変更のないことが、入札制度の公平性、信頼性を高めることに繋がると思いますので、契約変更がなるべく起らないよう今後更に詳細な調査を行っていく必要があると思います。

大澤委員

太田市の入札制度について初めて聞く言葉も多く、大変勉強になりました。

1件目の内容審査について、給食室の工事は、学校が長期休みを使って行われるのが望ましいので、今回の内容を精査し、スムーズな施工が行われると良いと思います。

もう1つの案件では、入札後に大幅な金額変更があったとの説明を受けました。事前調査での調査ポイントを増やしたり、今回を参考に予測をしたうえで発注を望みます。様々な協議をされたうえで、工事が行われるとのことで、安心安全な施設が整備されることを期待いたします。